

～田柄中学校の特色～

(1) 確かな学力の向上

① 授業規律の確立	○授業ルールを身に付け、基礎学力の定着を目指します。 (チャイム着席や授業準備、話を聞く態度等含む)。 ○田柄スタンダードの実施で授業の見通しをもたせています (めあての提示、生徒同士の対話、ICT 機器活用、振り返り)
② 数学の少人数授業	○個別最適な学習で意欲や学力の伸長を図ります。 (習熟度別少人数授業の実施)
③ 学力補充の充実	○学習教室や質問教室の実施で学習サポートを行います。 (9月より毎週実施の地域未来塾、夏季休業中や定期考査前の質問教室等)
④ 言語・表現活動の充実	○朝読書により言語活動の充実を図ります。 ○各教室に新聞を置き、時事問題に興味をもたせ、読解力や思考力の向上を図ります。 ○総合的な学習の時間を使って「表現活動」に取り組みます。
⑤ I C T 機器の活用	○一人一台のタブレットの効果的な活用で授業の ICT 化を進めています。(調査、発表、対話的学習、振り返り等)
⑥ 検定試験の奨励	○英語検定、漢字検定、数学検定の実施で、生徒の学習意欲を高め、チャレンジをサポートし、学力の視覚化に努めています。

(2) 生徒指導の充実

① 文武両道	○生徒の健全育成のために、部活動は生徒の自主性を重んじ、ガイドラインに従って実施しています。 ○生徒に様々な活躍の場を設け、文武両道を目指しています。
② 凡事徹底	○あいさつ、時間の管理、身だしなみ、言葉遣いや心遣い、姿勢等、当たり前のこと徹底してできるよう指導しています。
③ 丁寧な生徒指導	○生徒や保護者との対話を基本とした信頼関係が確立できるよう努めます。 ○道徳の授業を要に、全教育活動で心の教育に努めます。 ○外部機関と連携し、様々な教育課題の解決に努めます。
④ 生徒理解	○OSC や心のふれあい相談員、生活支援員などと連携した教育相談の充実を図ります。 ○定期的なアンケート実施や生徒の悩みを聞く機会を設け、一人一人の心に寄り添います。 ○生徒会役員と校長でミーティングを行って生徒の声を聞いています。
⑤ 特別支援教育の推進	○発達障害等の理解を深め、適切な対応ができるよう、専門家(巡回心理士や SC)による助言を基にした指導を行います。そのため、校内に委員会を設置し、生徒への支援策を検討し、実践しています。

(3) 開かれた学校・外部との協働

① 小中連携	○小学校から中学校へのスムーズな接続のための教育活動を進めています。(学習における小中9年間のカリキュラムの検討、児童生徒の情報交換、部活動体験、リトルティーチャー、出前授業、音楽朝礼等)
② 地域との交流	○地域と協働した合同防災訓練、地区祭参加、祭礼巡回、職場体験などを通して、地域との交流を深めています。
③ 関係諸機関との連携	○様々な目で生徒を見守ることができるように、外部諸機関と連携しています。
④ 学校評価アンケート・学校評議員会の実施	○生徒および保護者からの学校評価アンケートを実施し、校内で分析・検討して教育計画に生かします。(結果は年度末に公表) ○学校評議員会を定期的に実施し、学校の教育活動の課題等を話し合い、教育計画に反映させています。
⑤ 広報活動	○学校ホームページの更新に努めています。 ○学校だより(8月を除く毎月発行)で学校の様子を伝えています。 ○学年だよりで生徒の活動報告をしています。
⑥ 校務改善と働き方改革の推進	○教職員・生徒の負担を減らす校務改善を推進します。 ・学校行事・時程の見直し ・校務のスリム化 ・ペーパーレス化等を行って検証をしています。



【理科：課題解決学習】



【英語：対話的な学び】



【家庭分野：ICT の活用】

